

履歷書

本籍地 新潟市營所通一番町百五十三
現住所 函館市西川町六十二番地

元陸軍高等通訳官
石附省五二男

石附正男

明治四十一年五月十七日生

学業

- 一 大正四年四月函館市東川尋常小學校入学今年三月同校卒業
- 一 大正十年室古學校高等科へ入学今年高等科卒業
- 一 今年四月札幌市北海中學校入学昭和二年家事に都合依退学
- 一 昭和三年四月東京市外長崎村美術學校專修科へ入学今年四月三月專修科卒業

一 今年自一月至今年三月函館市外語教授所於テ露語ヲ專修今年二月小樽市高等商業學校露語教授スニルニツキハ
就キ修学ス

職業

- 一 昭和八年二月函館日々新聞社文藝囑託記者トシテ勤ム
- 一 昭和十年五月ヨリ函館市於テ露語教授所ヲ設置シ現時ニ至ル

賞罰

一 賞罰ナシ

右ニ通り相違無之矣也

昭和十二年六月

右

石附正男



大正元年八月廿日北海道函館市百子番地自吉松長
 女安部カツヨ私生子男弟有吾認知届出同日受附入籍

右本戶籍原本相違事下ヲ認證ス

昭和拾貳年七月拾五日
 新潟縣新潟市長小柳牧衛



		弟 從			
出生		母	父	母	父
				安部カツヨ	石附者吾
				私生子	男
				正男	
				出生明治拾貳年七月拾五日	

電報

翻譯者 長屋伍長

發信 昭和十二年十一月二十五日午後一時五十分

着信 昭和十二年十一月二十五日午後一時五十分

第七師團參謀長 宛 發信者 參謀本部庶務課長

本文 第三十號 新設

樺太機関(太田少佐機関) 三伴ノ機報費 増加額トシテ昭和十二年度末迄 分千圓送金ス

終

陸軍

記 白濁 土生

56 46

Grid for telegraph message content

12.10.26

47

記 白濁 土生

函文第 四九 號

軍部外務西要務修得者 異動ニ関スル報告

昭和拾貳年拾月拾九日

函館聯隊司令部 松井源之助

第七師團長 國部和 殿

本年四月平合函密第三五號ニ於テ報告スル旨ノ一文中左記ノ通リ異動アリシニ存報告ス

左記

里 勳 事由 由行 敷 職 系 氏 名
先員 召集 三 係 了 削 除
口ニシテ 諸 再 年 高 等 外 考 査 後 山 口 一 郎

12.10.22 陸軍 普通文

5948

發送 番號	七師參情第ニ九號	名宛	參謀本部長	名出差	參謀長
	七師參情第ニ九號		參謀本部長		參謀長
件名	極東蘇領謀報資料提	關係部	副官部 參謀部	司令部附 兵器部 經理部	軍醫部 獸醫部 法務部
師團長	／	關	主	附	部
司令	／	部	任	部	部
參謀長	／	務	任	部	部
主務長	／	務	任	部	部
高級副官	／	務	任	部	部
主任	／	務	任	部	部
淨寫主任	／	務	任	部	部
昭和	12	務	任	部	部
年月	11	務	任	部	部
日	27	務	任	部	部
發調	日	務	任	部	部

首題ノ件ノ左記ノ通提申ス

左記

- 一 越境ソングスニ族トノ連絡状況 四部
- 一 馴鹿牧畜ノ概要 四部
- 一 日本謀報ノ破壊工作 二部

陸軍

發送主任

一北樺太東海岸ノスイウオ並ノウグリキ附近ノ情報 三三三

陸軍

極秘

陸軍

七師參情第二九號

極東蘇領諜報資料提出ノ件

昭和十二年十一月廿九日 第七師團參謀長 服部 曉太郎

參謀本部總務部長 中島 鐵藏 殿

首題ノ件左記ノ通提出ス

左記

- 一、越境「ツングス」族トノ連絡狀況 四部
- 一、馴鹿牧畜ノ概要 四部
- 一、日本諜報ノ破壊工作 二部
- 一、北樺太東海岸ヌイウオ並ノウグリキ附近ノ情報 三部

50

副官	長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官
長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官	長官

電報翻譯用紙

電報

昭和 年 月

日 午 後前

時

分

番着信

翻譯者 高橋 曹

宛 發信者 榎本 廳官

本文

本日午前十時「アンパン」ニ漂着セルソ國奔動機船一隻救助
 目下乗組員及乗客ヲ保護取調中ナルガ乗組員ノ疲勞
 恢復ヲ待テ「エストラ」署ニ連行詳細取調ヲナス見込
 船名「ウィンペル」ヲ奔動機船ニ頓船長「ホーフ・イワン」
 三三外船員三名乗客「ペラ」將校一名兵五名勞働者七

通信局受付時間 午 12 時
 受信局受付時間 午 12 時
 司令室到着時間 午 12 時
 翻譯完了時間 午 12 時

本用紙は暗号ニ使用セサル事

陸軍

12.1.24
 付受通普

電報翻譯用紙

電報

翻譯者 高橋軍曹

12.11.24

付受通普

昭和 年 月 日

午後

時

分 番 號

宛

發信者

樺太廳 官

本文

本日午前十時「アンバシ」ニ漂着セルソ國發動機船一隻救助
 目下乗組員及乗客ヲ保護取調中ナルガ乗組員ノ被勞力
 恢復ヲ待テ「エストラ」署ニ連行詳細取調ヲナス見込
 船名「ウインベル」ヲ發動機船ニ損傷船長「ホーフ・イワン」
 三三外船員三名乗客「ケバウ」將校一名兵五名勞働者七
 名計十七名連日ハタルニ「コレオ」ヨリ亞港
 二向ケ航行中發動機故障ヲ生シ漂着シタルモノト稱ス

陸軍

師長	參謀長	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
○	○	○	○	○	○	○	○

51

發送主任

昭和 12 年 11 月 23 日

帥團長

參謀長

高級副官

主任

淨寫主任

司令部附
 兵器部
 經理部
 軍醫部
 獸醫部
 法務部

發送番號

電報 (報長)

宛名

樺太廳 警務部 高峯科長

出差名

參謀

抑留シアル(ソ)國人ニ對シテハ通過途中 是工サレ処置ヲ講
 之適宜ノ場所ニ連行ノ上調査セラル度

電報 (暗号)

七中 考査 第三六 類 参本 外ニ 部長

二十二日 安別ニ 漂着セルソノ 國ゲ 六外十一 七名ハ 本日 惠須

取敢 察署ニ 到着ノ 警師 志ニ 取り 敢エス 憲兵ト 連絡シ

旭川 分隊長 西永 大尉ヲ 現地ニ 急派シ 取調ヲ ナス 予定 午後

一 處置ニ 就キ 何分ノ 指示ヲ 俟フ

師團長	司令官
參謀長	參謀部
主務部長	參謀部
高級副官	參謀部
主任	參謀部
淨寫主任	參謀部
昭和 12 11 25 日 發	司令部附 兵器部 軍醫部 獸醫部 法務部

陸軍

ソノ 國人 取調ノ 爲 參謀ハ 派遣セラルモ 承知セラレ度

七中 考査 第三六 類 参本 外ニ 部長

二十二日 安別ニ 漂着セルソノ 國ゲ 六外十一 七名ハ 本日 惠須

取敢 察署ニ 到着ノ 警師 志ニ 取り 敢エス 憲兵ト 連絡シ

旭川 分隊長 西永 大尉ヲ 現地ニ 急派シ 取調ヲ ナス 予定 午後

一 處置ニ 就キ 何分ノ 指示ヲ 俟フ

師團長	司令官
參謀長	參謀部
主務部長	參謀部
高級副官	參謀部
主任	參謀部
淨寫主任	參謀部
昭和 12 11 25 日 發	司令部附 兵器部 軍醫部 獸醫部 法務部

陸軍

發送主任

師團長 師團部 師團部 師團部 師團部 師團部 師團部 師團部 師團部 師團部

電報翻譯用紙

電報

翻譯者 岡井 軍部

發信 昭和十二年十一月二十六日 午後五時五分

着信 昭和十二年十一月二十六日 午後五時四分

第七師團參謀長宛 發信者 參謀本部總務部長

本文 貴電第三六〇号 送 謀

貴方之取調結果 示之並之釋放
及及之宣傳價值大ナルヲ以テ
代表的ニ宣傳價值大ナルヲ以テ
取調其ノ他ノ工作ヲ宣明スル

次第送 アリタシ

發信局發付時間	午後五時五分
受信局發付時間	午後五時四分
司令部に着信時間	午後五時四分
翻譯完了時間	午後七時五分

本用紙ハ暗号ニ依リテセラル

陸軍

師團部 師團部 師團部
12.11.27
付受通普

電報

翻譯者 岡井 軍由

12.11.27

付受通普

發信 昭和十二年十一月二十六日午後五時五分

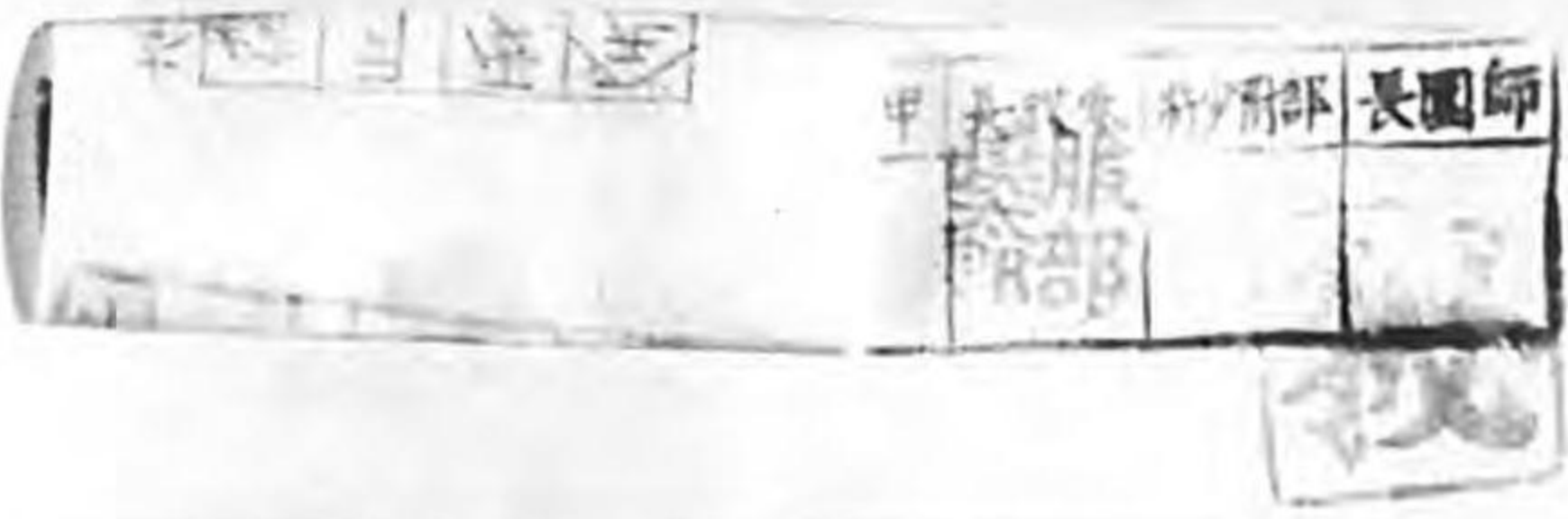
着信 昭和十二年十一月二十六日午後五時四十分

第七師團參謀長宛 發信者 參謀本部總務部長

本文 貴電第三六〇号 送 謀

貴方之於取調結果示之釋放
及及以之宣傳價值大ナル之
代表的ナル取調其地ニ程致シ更ニ
詳細ナル取調其地ニ程致シ更ニ
中意ナルアリ
本件之照ニ取調次第返 アリタシ

陸軍



師團長	蔣少附部司令
參謀長	參謀部
主任	部長務主
高級副官	高級副官
主任	主任
淨寫主任	淨寫主任
昭和十二年十一月三十日	發

電報 (暗号)

發送 七呼名覆方三十五号

宛名 第二部長

關係部 副官部 參謀部

司令部附 兵器部 經理部

軍醫部 獸醫部 法務部

名出 參謀長

大尉一アリニ十二日以來食ヲ絶テ取調ニ對シ何等
陳述セズ 兵ヲ全員語ルヲ避ケ且語ルモ虛偽多ク取調意ノ如ク進マズ
近ク費百小ニ連行スル旨

太田少佐ヲ明日旭川出發赴任ノ上取調ニ當ラシム

陸軍

電報譯文

(十月五日午前十時本部受)

西永大尉

隊長 宛

二十日惠須取著雪深し。船員五、兵六、乗客七。
 船、大キサ三噸ニシテ、船長以下大ナル能力ナシ。
 ケバウ大尉ハ二十日以来絶食シ目下如何ナル点モ
 陳述セス兵全員、陳述又同様ニシテ而モ陳述虚
 偽ノミ多ク取調進マズ近ク豊原ニ同行ノ予定。
 軍機保護法違反ト認め難ク既ニ亞港領事ヨリ
 遭難救助ノ要ホアリ。東京ニ連行ノ理由ニ就テ
 ハ考究中ナリ。

電報譯文

(十月二十九日午後九時本部受)

西永大尉

隊長 宛

遭難者秘密取調中ナルモ既ニ亞館領事ヨリ
 救助謝礼ノ電報アリ
 船体検査ノ結果ガムク障ニハハ發券見セリ
 兵卒等ノ取調進歩思ハシカラス 將來本人等ヲ東京
 ニ連行スルヨリモソノ聯軍隊並ニソノ語ニ通曉ス將校
 一ノ派遣ヲ希望ス
 又遭難者ノ処置トシテソノ聯ニ監禁中ノ日本人
 トノ交換引渡ヲ條件ニ外務省ヨリ交渉セラレ度ク
 軍機保護法適用ハ適當ナラスト思料ス

極秘

電報譯文

十月三十日午後七時四十分受

(樺太惠領取) 西永大尉

隊長宛

ゲバウ大尉ハ日本官憲ニ反感ヲ有シ絶食且
 □ヲ緘シ態度傲慢ナリ兵卒五名モ守別ニ
 救助直像ゲバウ大尉ニ□止メサレタルモノ如ク諸
 種ノ陳述ヲ爲サス取調進捗ス
 又惠領取署ハ留置場狭ク取調上困難ナル状
 態ニテ依テ軍人六、船員三、ヲ道路南通次第
 豊原ニ連行同地ニ於テ新タル手段ニ依リ取
 調ヘラ爲ス如ク意見ヲ開陳シ憲兵ハ一先豊
 原ニ引揚ル予定ナリ指示ヲ乞フ

土生

陸軍

極秘

電報釋文

受付年月日時 昭和一二一、三〇午後五、五〇
 發信地及發信者 祐惠須取 西永大尉
 受信者 旭川憲兵隊長
 電文

取調依然進捗セス陳述ハ單ニ平易ナル事

項ノミニシテ概微ニ觸レスゲペウ大尉ト認ム

ル者(拳銃携行襟章青、金線ノ縁アリ赤色
 各二本アリ?)

カクホシニアリ)尚絶食中ナリ其他兵卒ハ全

員満期除隊者ニシテ労働者トシテ勞役地

ニ赴任中ナリト主張シ軍事關係ニ就テハ承

知セスト稱スルモ荷物検査ノ結果軍服數ト

拳銃一、同彈藥數十發其他多數所持ス

依ツテ爾後ノ取調ハ日時ト強壓ヲ要シ外交

交渉ノ關係生スル虞アリ然レ共將來此ノ種

参考人ヲ求ムコト困難ナルヲ以テ日時ヲカケテ

陸軍中隊 (印)

角星二

徹底的ニ取調ヘ為スヲ可トス 目下處置ニ
付考究中ナルモ指示ヲ乞フコソ聯ヘ發表ハ
當分保留ヲ要ス

本電ハ憲兵司令部警務部長ニ電報ス

西 永 大 尉

師團長	司令部附少將
參謀長	
主任務長部	
高級副官	
主任	
淨寫主任	
昭和 12 年 12 月 2 日	
發日	調日

電報(暗号)

發送 七中電ニダシ

宛名 參謀部 總務部長

關係部 司令部附 參謀部 兵器部 軍醫部 獸醫部 法務部

出差名 參謀部長

前電ノソ國大尉ハ騎兵中尉ノ如シ(禮章青金縁 赤魚星
ニ)我ニ反感ヲ有シ態度不遜 十日ヲ過クルニ食ヲトラス依然
口ヲ緘シアリ 衰弱ノ為遠ク連行シ得ガルニ付現地ニ残シ兵及
船員ハ豊原ニ連行シ軍機保護法違反定石疑者トシテ取調拘留
シ取調ヲ續行セントス

發送主任

師團長
司令官
參謀長
主務部長
高級副官
主任
淨寫主任
昭和 12 年 12 月 7 日
調日發

電報 (臨時)

副官部	司令部附
參謀部	兵器部
經理部	軍醫部
	獸醫部
	法務部

發送 七中電報 七九號
 名 宛 參謀本部 部長
 名 出 差 參謀長

ノ將校ハ十二月一日以來食ヲ採リ經過
 五日頃豊原ニ連行スル意向ナリ

陸軍

憲兵通報

(電報) (十二月三日 支領)

一、ゲペウ大尉以下 豊原ニ連行取調ノ件ニ関シテ
 本日カラフト廳其他關係各官 協議會ヲ
 開催シタルカ 豊原ニ連行スルコトハ各官同意ナク
 取調ノ場所 留置場所 關係等ニ関シ 確々之意思見
 アリテ 纏マラス 確實ナルコトニ 関シテハ 明日更ニ
 協議スル 著ナリ 依テ 明日午前中ニ 協議確定
 ノ事定ナリ

二、乘組員全部 豊原ニ連行スルニ付テハ 樺太廳同
 意ニアリ 連行ノ 経路ニ 関シテハ 明後日 海路ニ 兵庫
 ヲ 經由 連行スル 意向アリ

三、ゲペウ大尉ノ 健康ニ 関シテハ 十二月一日 醫師ノ 診断
 ノ 結果 絶食ノ 爲 初疫 弱シタルニ 身体ニ 故障ヲ



函測第一六三號

昭和十二年十月一日

北海

函館測候所

第七師團

付



七記資料執務上必要有之候条送付相成度此假支所依頼候也

記

- 一兵要氣象統計實施要領授萃(氣象資料内容)
- 二國際氣象信号符號
- 三蘇聯和拉東地方氣象實況報

三ノ

66

秘札測第三

昭和十二年十月二日

札幌測候所長八鍬利助



第七師團參謀御中

氣象資料ニ関スル件

今般北海道廳經濟部長ヨリ移牒、次第有之候左記資料希望ニ付可卒御送付被下度此段及御依頼候也
追テ同資料、極秘ニ取扱ヒ可致候条申添候

記

兵要氣象統計實施要領授萃

67

二國際氣象信號符號
三蘇聯邦極東地方無線氣象實況報

以上

第一三〇

昭和拾貳年拾月四日

網走測候所長 長谷川德太郎

第七師團司令部 御中

左記氣象資料三箇之件

一 左記氣象資料二箇之件
二 今般北海道廳經濟部長
三 希望、向貴師團宛直接申込可申旨通
四 牒、次第三有之、右、貴師團宛、極大に有益なる考
五 考資料ト相成、可申、付、貴師團宛、御配布有之様
六 涉取計ニ相煩、度候

記

北海道廳

- 一 兵要氣象統計實施要領沿革(氣象資料內容)
- 二 國際氣象通信號符號
- 三 蘇聯邦極東地方無線氣象實況報

以上

468



謀參丁	謀參丙	謀參乙	謀參甲	長謀參

(秘)

紗測第一三三號

昭和十二年十月十四日

十島國紗那

紗那測候所長

第七師團參謀長殿

氣象資料ニ関スル件 願

標記ノ件ニ関シ北海道廳ヨリ通牒モ有之候ニ付
左記氣象資料御交付願度此段申上候也

記

- 一 兵要氣象統計實施要領抜萃 (氣象資料内容)
- 二 國際氣象信號符號
- 三 蘇聯邦極東地方無線氣象实况報

以上

北海



謀參丁	謀參丙	謀參乙	謀參甲	長謀參

室訓親和十二号

昭和十二年十月廿一日

室蘭測候所長北田道田

第七師團參謀 殿

氣象資料ニ関スル件

今回北海道廳ヨリ本件ニ関シ通牒有之 左記事項貴師團ヨリ
御通知相成旨承知仕候 本事項ハ測候事業上極メ重要ニ御
座候條 極秘扱ヒト致スベキニ付 御内示相成度此段申請
申上候也

- 一 兵要氣象統計實施要領抜萃 (氣象資料内容)
- 二 國際氣象記号符號
- 三 蘇聯邦極東地方無線氣象实况報

以上

北海





55

津要謀 第三一號

樺太ニ於ケル謀報者ノ行動ニ関スル件通牒
昭和拾貳年十一月廿貳日
津輕要塞司令官竹内寛
第七師團參謀長服部曉太郎殿

首題ノ件ニ關シ樺太廳長官ニ對シ別紙ノ通り
通牒セシ付承知相成度
尚ホ樺太廳特高批第七、四五〇號標題用語ノ件
其他ニ関シ參謀ヲシテ警察部長宛連絡注意セ
シメ置キタルニ付申添フ

別紙寫

津要謀 第三一號

謀報者ノ行動ニ關スル件通牒

津輕要塞司令官竹内寛

昭和拾貳年十一月廿貳日

樺太廳長官今村武志殿

十一月十日特高批第七、四五〇號ニ係ル土井毛利兩
名ノ貴島ニ於ケル動靜ニ關シ軍部トノ關係係左
記ノ通りニ付承知相成度

一、兩名ヲ樺太ニ派遣シタルハ軍謀報ノ目的ニ出ラタ
ルモテニシテ其後當部參謀ヨリ貴廳警察部
長宛連絡セル通リニ付承知相成度

二、右派遣ニ當リ當部參謀及函館憲兵分隊
長ヨリ直接敷香署長ト連絡シ貴廳當局ト連
絡セサリシハ事急ヲ要シタル為メニシテ全ク事務上
ノ便宜ニ出テタルモノニ付御了承相成度

三、細部ニ關シテハ當部參謀ヨリ更ニ貴廳警言部長
宛連絡セシムヘク候

右ニ付今後共宜敷御協力方御願申上候

陸軍



電報翻譯用紙

電報

翻譯者

石田曹長

昭和十五年十二月四日

午後

一時

分 番着信

第七師團長

宛

發信者

樺太廳長

本文

蘇國發動機船
 安割海岸ニ入領
 シタル事ハ一
 關連シ恰
 モ曰蘇國ノ空
 軍ハ突トナリ
 目下何等
 カ首端ヲ惹起
 セルカ如キ憶
 則ヲ送ウシ
 巷間類ニ人心
 ヲ恐惑セシム
 ルカ如キ流言
 セラレ居ルヤ
 ニ付之カ取
 締

府縣長官宛
 依頼ニ置

陸軍

謀參丁	謀參丙	謀參乙	謀參甲	長謀參	將少附部	長團師
		(土)	(白)			

通信局受付時間	司令官到着時間	翻譯完了時間
午時	午時	午時
分	分	分

本用紙ハ暗号ニ使用ヤサレ事



謀参丙	謀参乙	謀参甲	長謀参	將少部	長團師
	(土)	(自)	(自)		

電報送達紙

者校照	信受	付	局信	數字	種類	宛	名
	午	一	ト	二	カ		官報
者信受	時	時	ハ	二	カ		
	分	分					
ニ カ 二 レ ン シ ア メ カ モ						定指	
リ マ ウ カ ン ル ニ ニ ニ ニ ニ						殿	
ツ ハ イ カ ン カ ニ ニ ニ ニ						著信番號	
ン ン ン ン ン ン ン ン						方告し他大に宛てた電報本るときは共旨附箋して直に配達局所へ送付す	
ン ン ン ン ン ン ン ン						事記	
ン ン ン ン ン ン ン ン						印	



省 信 送

電報翻譯用紙

電報

翻譯者

石田曹長

昭和十五年十二月四日

午後一時

分

番號

第七師團長

宛

發信者

樺太廳長信

本文

蘇國發動機船
安割海岸ニ入領
モ曰蘇間ノ空
カ音端ヲ惹起セルカ
巷間類ニ人心ヲ恐惑
方ニ関シ各廳府縣長官
キタルニ付為念

陸軍



紙 達 送 報 電

者校原	信受 午	付受	號番	局信發	數字	類種	宛	名
	時	時						
	分	分						
マニウトウニ							殿	著信番號
リウヲキシニ								
カキルリセ							殿	著信番號
タコフユニ								
ニセウニ							殿	著信番號
カカヲルニ								
ンレカヲ							殿	著信番號
ニトヲンキ								
カリルヲゴニ							殿	著信番號
シニセウ								

省 信 送

紙 達 送 報 電

者校原	信受 午	付受	號番	局信發	數字	類種	宛	名
	時	時						
	分	分						
ニキヲニシニ							殿	著信番號
ウヲウラアツ								
ニクキカラン							殿	著信番號
コソセニトカ								
ウタルナン							殿	著信番號
カヲカダリノ								
ンダニモク							殿	著信番號
ニクゴヲツウ								
キマニカキ							殿	著信番號
リニトナク								

省 信 送

75

津要謀第三三號

昭和拾貳年三月六日

極東蘇領謀報資料送付ノ件
津輕要塞司令官竹内寛

第七師團參謀長服部曉太郎殿

首題ノ件左記ノ通り送付ス

追テ本資料ハ各一部ノミニテ當部控モ殘
置セサルニ付此儘參謀本部宛報告相成度
左記

一昭和十一年度ハ官憲取締狀況

資料ハ參謀本部へ提出ス
附官吏調 一部



陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
12.12.3
陸軍省 陸軍部

紙 達 送 報 電

者校照	信受 午	付受 時	號番	局信發	數字	類種	宛 名
							殿
							著信番號
							若し他人に宛てた電報なるときは其旨附箋して直に配達局所へ返戻して下さい
							日 附 印
							省 信 送

ト = ア 4
テ ヲ テ 2
ウ キ イ ウ
カ イ ラ フ
ン ネ ン
シ オ 4
カ キ ウ
ラ ヲ カ
フル ン

副官部	謀參丁	謀參丙	謀參乙	謀參甲	長謀參	將少附部	長團
			(土)	(白)			

24
56

津要謀 第三四號

蘇國發行新聞入手狀況ノ件通牒

昭和拾貳年三月六日

津輕要塞司令官竹内寛

第七師團參謀長服部曉太郎殿

首題ノ件別紙ノ通りニ付參謀本部ノ報告相成度

陸

陸軍部
12.12.3
付受通普

別紙

蘇國發行新聞入手狀況

一、函館日魯澳業會社ニ於テ各現地出張員ヲ通シ
常續的ニ購讀スルモノ尤ノ如シ

スモスクハ發行日刊

フロウダ紙

スハバロフスク發行日刊

ケエ、オケアンスカヤ、スヴイズダ

(太平洋ノ星)

3、浦塩発行日刊

ルイバスイ、エンド、レスヤ

二、同會社員カ澳期現地ニ於テ入手セルモノ

ス、フテロパウロスク發行日刊

カムチヤツカ、プラウダ紙

ス、ウスケカムチヤツカ發行旬(週)刊

シエトルマ

右ニ^種類ハ別送ス

三、日蘇通信社ヲ通シ北樺太亞港發行日刊新聞

ヲ入手スル見込アリ手配セシモ尚ホ現品送付

ニ及ハス

其他極東各地ニ於テ數十種ノ露字新聞ア
ルモ何レモ入手至難ナリ

76

陸軍部 參謀部 第四二號第七

改訂送付

兵要地誌關係書類配布ノ件通牒

昭和十二年十二月九日 大本營陸軍參謀部庶務課長 諫山春

第七師團參謀長 服部曉太郎殿



陸



十一月三十日附七師參情第三〇號請求ニ係ル兵要地誌關係書類別紙
目錄ノ通送付ス

追テ兵要地誌主任者會同席上ニ於ケル參謀次長口演要旨及第二部
長口演要旨、同附錄並自昭和十四年度極東蘇領及外蒙古地誌調査
要目其一乃至其四ハ共ニ當部ニ豫備ナキニ付必要ナル事項ヲ貴部
ヨリ通報セラレ度

加強司令
西配
布
之
し
大向少佐用トシテ配布ナシ

秘

第七師團司令部

兵要地誌關係書類配布目錄

昭和十二年十一月八日
大本營陸軍部

年月日

件名

一連番豫部数

昭和
一、三、三〇

烏蘇里方面兵要地誌 第一卷

秘 志

昭和
一、三、三〇

同 第二卷

秘 志

昭和
一、三、三〇

同 第三卷

秘 志

昭和
一、三、三〇

同 第四卷

秘 志

昭和
一、三、三〇

黑龍州方面兵要地誌

秘 志

昭和
一、三、三〇

烏蘇里及地方兵要地誌附圖

秘 志

昭和
一、七、三一

極東「ソ」領資源要覽

軍事秘密 志

昭和
一〇、六、一五

兵要地理並國防用資源調査報告例規

軍事秘密 志

兵要地誌概説ニ記載スルキ事項

志

兵要地誌主任者會同席上調査細部ニ関スル説明事項

志

兵要氣象調査ニ関スル希望

志

兵要氣象統計實施要領

志

國際氣象信符符號

志

蘇聯邦極東地方無線氣象實況報

志

無線氣象通報改善ニ関スル希望事項

志

極東蘇領調査參考圖

志

昭和
一、二、二

帥 副 長 件 名

送付、件
兵要氣象關係書類

司令部分部少將

參謀長



主任部長

高級副官

關係部

副官部
參謀部



主任

淨寫主任

司令部附
兵器部
經理部



軍醫部
獸醫部
法務部

昭和

12/12

月年

10日

日發

發送主任

發送番號

七師參情第一號

師管內各測候所長

出差名

參謀長

首題、件、關、送付、方、希望、向多數有之、師

管內各測候所宛、左記、通、配布、可致候

追印之、秘密取扱、關、格別、御配意、想度、申

添候

左記

三

三

#60

師團長	／
司令部附少將	／
參謀長	／
主務部長	／
高級副官	／
主任	／
淨寫主任	／
昭和	12
12	10
月	日
年	日
月	日
日	日
發	調

極東蘇領諜報資料
提出ノ件

七師情第一號
總參謀本部
參謀部長

首題ノ件左記ノ通提出ス

左記

昭和十二年度蘇官憲取締狀況附官吏調

北樺太ヨリ浦塩ニ軍隊ヲ輸送セル希臘船

關スル件

發送主任

控

極秘

陸軍

七師參情第二號

極東蘇領諜報資料提出ノ件

昭和十二年十二月十一日 第七師團參謀長 服部 曉太郎

參謀本部總務部長 中島 鐵藏 殿

首題ノ件左記ノ通提出ス

左記

昭和十二年度蘇官憲取締狀況附官吏調 壹部

北樺太ヨリ浦塩ニ軍隊ヲ輸送セル希臘船ニ關スル件 參部

千スル見入アリ
 二三項ハ飛配シアルモ現品送付ニ至ラス
 四、其他極東各地ニ於テ数十種ノ露字新聞アルモ何
 レモ入手至難ナリ

蘇聯新聞紙類
 一、(P.O. Box) 送付日誌
 二、(P.O. Box) 送付日誌
 三、(P.O. Box) 送付日誌
 四、(P.O. Box) 送付日誌
 五、(P.O. Box) 送付日誌
 六、(P.O. Box) 送付日誌
 七、(P.O. Box) 送付日誌
 八、(P.O. Box) 送付日誌
 九、(P.O. Box) 送付日誌
 十、(P.O. Box) 送付日誌

陸軍

極秘

陸軍

控

七師參情第三號

蘇國發行新聞送付ノ件

昭和十二年十二月十一日 第七師團參謀長 服部 曉太郎

參謀本部總務部長 中島 鐵藏 殿

首題ノ件別紙狀況ノ通入手セシニ付送付ス

控

秘

現品別送

陸軍

七師參情第四號

兵要氣象資料提出（送付）ノ件

昭和十二年十二月二十日 第七師團參謀長 服部 曉太郎

首題ノ件左記ノ通提出（送付）ス

左記

一、北海情報ニ就テ（工兵第七聯隊）

自大正十二年二月中旬 海象氣象情況

至同 年二月下旬 陸軍交通船々長上原竹松郎航海記錄拔萃）

自大正十二年三月十日 海象氣象情況

至同 年三月十五日 陸軍交通船々長上原竹松郎航海記錄拔萃）

配布先 參謀本部、津輕要塞司令部、陸軍運輸部、大湊要港部

旭測候所三三號

昭和十二年十二月十四日

北海道

旭川測候所長



第七師團

參謀長 殿

兵要氣象關係書類ノ件

十二月十一日付七師參情第一號ヲ以テ首題ノ件御配布
有之候處引紙受願證提出セシテ候條御查收相成様
致度候也



8/63

壽測第一四八号

昭和十二年十二月十五日

壽都測候所長事務取扱種市石藏

第七師團參謀長服部曉太郎殿

兵要氣象関係書類送付件

本月十日付七師參情第一号より別途送付有之候本件関係書類正社有受領仕候也

追而之方取扱関係書類主務者照殿重鎮鑄子施之
夕儿堅固ナル迄居候ニ格納簿甚シ注意ヲ可私候事小
御了知相煩度申添候

壽都測候所

12.12.16
付受通普



了

浦測第一四八号

昭和十二年十月十五日

浦河測候所長尾森仙太郎

第七師團參謀長服部曉太郎殿

兵要氣象関係書類送付件

十月十日付七師參情第一号標記一件より貴堂より
印刷物以贈付相候事其要領ニ感謝仕矣受領致
別紙函に記名請印提出仕候事以了知相煩事也

第七師團司令部
12.12.17
付受通普



七 軍 直 達

相復

現下時局之際、軍務極別、事務繁忙、於
益之、滯多、祥、汝、為、後、為、段、亦、亦、為、為
慶、福、不堪、也

相、今、回、因、別、疎、領、收、證、の、事、刷、初、是、大
滯、慮、送、預、親、有、滯、禮、申、上、候

書、中、重、要、事、項、の、外、之、日、常、執、務、上、候、了
於、考、考、於、事、如、然、上、は、極、秘、附、之、は、

勿、論、大、切、取、扱、可、申、右、滯、禮、迄、如、斯
滯、慮、也

時、節、杯、折、角、滯、自、愛、也、一、致、上、候

謹言

十二月十五日

上海直德



受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(一)氣象資料內容 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地無線氣象實況報 壹

昭和十三年十二月十七日

測候所取扱者氏名印

札幌測候所長八鍬利助



第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(一)氣象資料內容 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地無線氣象實況報 壹

昭和十三年十二月十四日

測候所取扱者氏名印

旭川測候所

測候所長池田湯

第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)



受領證
記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容)
 - 二 國際氣象信號符號
 - 三 蘇俄極東地無線氣象實況報
- 右受領候

昭和十二年十二月十五日

測候所取扱者氏名印

室蘭測候所長

北田道男



第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證
記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容)
 - 二 國際氣象信號符號
 - 三 蘇俄極東地無線氣象實況報
- 右受領候

昭和十二年十二月十五日

測候所取扱者氏名印

帶廣測候所長佐藤善吾



第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月十五日

測候所取扱者氏名印

浦河測候所長尾森仙太郎



第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月十五日

測候所取扱者氏名印

網走測候所

網走測候所技手

田正造



第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月十五日

測候所取扱者氏名印

壽都測候所長事務取扱種市石藏



第七師團參謀部御中

(現品受領に取扱者記名捺印の上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月十五日

測候所取扱者氏名印

羽幌測候所長 鈴木重次郎



第七師團參謀部御中

(現品受領に取扱者記名捺印の上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

昭和十二年十二月十六日

測候所取扱者氏名印

根室測候所長和田佐一郎



第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

昭和十二年十二月十六日

測候所取扱者氏名印

釧路測候所長 鈴見四郎

第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領拔萃(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

昭和十二年十二月十六日

測候所取扱者氏名印

本斗龍洲支所長

波多野

浩

第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領拔萃(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

昭和十二年十二月十六日

測候所取扱者氏名印

山田幸兵衛

山田幸兵衛

第七師團參謀部御中

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

受領證

- 一 兵要氣象統計實施要領抜萃(氣象資料内容) 壹
- 二 國際氣象信託符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹
- 四 受領候

昭和十三年十二月七日

測候所取扱者氏名印

第七師團參謀部御中

樺太大泊町
樺太廳觀測所



(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

号

大

觀測所第六之號
十一月十日

觀測所取扱者氏名印



第七師團參謀部

十一月十日
兵要氣象統計實施要領抜萃(氣象資料内容)
國際氣象信託符號
蘇俄邦極東地方無線氣象實況報

樺太廳觀測所



兵要氣象統計實施要領抜萃(氣象資料内容)
國際氣象信託符號
蘇俄邦極東地方無線氣象實況報

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領表(氣象資料內容) 壹
- 二 國際氣象信託符號 壹
- 三 蘇俄極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月二十日

測候所取扱者氏名印

第七師團參謀部御中

檢定官 觀測科
 東野善之助 長
 中村 英次
 長

(現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度)

北海



(秘)

紗那第一六一號

昭和十二年十二月十日

紗那測候所長 小林清次



第七師團參謀長 殿

兵要氣象關係書類領收ノ件

十二月十日付 七師參謀部一號ヲ以テ 市送 兼 相賜
 兵要氣象關係書類ニ付シテ 領收書別紙ノ通
 提出仕矣也

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領披萃（氣象資料內容） 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月十八日

樺太廳觀測所長觀候所取扱者氏名印

加藤英一



第七師團參謀部御中

（現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度）

受領證

記

- 一 兵要氣象統計實施要領披萃（氣象資料內容） 壹
- 二 國際氣象信號符號 壹
- 三 蘇俄邦極東地方無線氣象實況報 壹

右受領候

昭和十二年十二月十日

記

測候所取扱者氏名印
樺太廳觀測所長觀候所取扱者氏名印

村上智久



第七師團參謀部御中

（現品受領之取扱者記名捺印、上返送相成度）



其難於譯者惟我以下又造二頁云

國信者，連改打合，一併

一、空拖期日 十二月二十日

二、合同均所 漢軍省長務課

三、出席者

身務課 漢部部務課

先如 甲若何等事

陸軍

七師司 古制砲台外傳

松務省 系係課長

樺左广 新元音等課長

四. 主要連絡決定事項

1. 朝鮮邦内、軍事官係事項ヲ徹底的ニ調査取調

ヲ存スルト之カ存ニハ取調ニ何ケ月ヲ要スルニ支障ナ

ク存スルニ在リ

ク外務省及司法省トモ連絡シ古制譯解ヲ以テ

陸軍

又取調ノ有ニ接同ニテ傷害ニ依リ後胎症ヲ残サシム限

リ有ニハ致シトスルニ即チ思威ニテ兼示時ニハ防心要

ヲ要スルハ如指示ヲ給シ或ハ日令ノ文化ヲ十分諒解セシ

ムニ至ルニ至ルニ在リ

取調ノ進行ニ伴ヒ

3. 松ノ目的達成中ニ在リ、舊日其特異其他以要ノ人々ヲ

東京ニ送リテスルヲ有利トモノヤラハ、特異ヲ通シシテ

如ニ送報スルニ在リ

4 帰着せしむるに於て自己ノ生命ニ害スル危険ノ有歸来
ヲ肯セザルモノニ對シテハ當局ニ於テ這宜ノ方計ヲ採
取ル
特来ノ
ヲ保シテ其ノ意向ヲ

外務省極務者トシテ

5 所謂信託ナリ連ニ帰國セシムルヲ可トモノニ對シテハ
既ニ我々民ニシテ難難ニ抑有テ中ノ者トシテ授マ
ルニ必造ヲ採ル(キ)付 其旨 通報セシム

6 海軍使由造ニ有テハ其旨(一)一〇日四十五分ハハ梅老ノ一ニ

海軍

陸軍

監視者(一人一〇日三十分) 中選者ノ方ハ軍ニテ監視ス

其他加給者等ニ有テハ陸軍ハ軍ニテ文書ス

任テ各々月分ノ女軍又出以有陸軍ノ又ハ疑ヲ
免知ニ請求セシム

控

11

蘇聯漂着將校以下ノ處置ニ
關スル關係者、連絡打合ノ件

- 一 實施期日 十二月二十日
- 二 會同場所 陸軍省兵務課
- 三 出席者

兵務課 渡部騎兵少佐
 七師司 甲谷步兵大尉
 拓務省 大村砲兵少佐
 樺太廳 關係課員
 新見高等課長

四 主要連絡決定事項

一、蘇聯邦内ノ軍事關係事項ヲ徹底的ニ調査
 取調ヲ爲スコト、之カ爲ニハ取調ニ何ヶ月ヲ
 要スルモ支障ナク參本ニ於テ外務省及司法

省トモ連絡シ大體諒解ヲ得タリ

二、取調ノ爲ニハ拷問シテ傷害ニ依ル貽後症ヲ殘
 ササル限り有ユル手段ヲトルコト 即チ恩威
 之ヲ兼ネ時ニハ慰安ヲ與ヘ知給品ヲ給シ或ハ日
 本ノ文化ヲ招ケシ之ヲ十分諒解セシムルコト
 モ必要ナルヘシ

三、取調ノ進行ニ伴ヒ右ノ目的達成ノ爲將校其
 他所要ノ人員ヲ東京ニ連行スルヲ有利トスル
 モノアラハ師團ヲ通シ參本ニ通報スルコト

四、漂着セルモノニシテ自己ノ生命ニ關スル危虞ノ
 爲歸國ヲ肯セサルモノニ對シテハ當局ニ於テ適
 宜ノ方法ニ依リ將來ノ保證ヲ與フル意嚮ナリ
 五、取調價值ナク速ニ歸國セシムルヲ可トスルモノニ
 對シテハ外務省及拓務省ト連絡シテ現ニ我國

一字削除

6.
 民ニシテ蘇聯ニ抑留中ノモノト交換スルノ
 處置ヲ採ルヘキニ付其旨通報セラレ度
 漂着民留置ニ要スル費用(一人一日四十五錢)ハ
 樺太廳ニテ監視費(一人一日三十錢)中憲
 兵ノ分ハ軍ニテ負擔ス
 其他慰安如給等ニ要スル諸經費ハ軍ニテ
 支出ス 依テ每一ヶ月分ノ軍支出所要經費
 ノ見込額ヲ參本ニ請求セラレ度

陸軍

秘

陸密第一五七〇號

(甲)

外謀防止ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十二年十二月二十九日

陸軍次官 梅津美治郎

諸外國就中英國當局ニ於テハ最近我國内情勢諜知ノ爲其出先官憲ヲシテ特ニ陸海軍青年將校ト接觸セシムルコトニ
 著意シ主トシテ駐日武官以下語學將校ヲシテ之ニ當ラシメアル由ニ付之等ト接觸スル者ハ其言動ニ注意シ防諜上遺
 憾ナキ様配慮アリ度依命通牒ス



64

陸軍



七師參情第五號

兵要氣象資料提出（送付）ノ件

昭和十二年十二月廿三日

第七師團參謀長

服部

曉太郎

首題ノ件左記ノ通提出（送付）ス

左記

一、南樺太西岸泊居冬季氣象統計

部

（陸軍交通船々長上原竹松郎航海記錄拔萃）

提出（送付）先

參謀本部、津輕要塞司令部、大湊要港部、陸軍運輸部

陸軍

80

發送主任

昭和 12 年 10 月 20 日 發

師團長	司令部附少將
參謀長	
主務部長	
高級副官	
主任	
淨寫主任	
司令部附	軍醫部
兵器部	獸醫部
經理部	法務部

發送番號

七師參情第五

宛名

津參謀本部總務部長
大湊要港部
運輸部

出差名

參謀長

首題ノ件左記ノ通提出（送付）ス

左記

一、南樺太西岸泊居冬季氣象統計

部

提出（送付）先

參謀本部、津輕要塞司令部、大湊要港部、陸軍運輸部

陸軍

謀參丁 謀參河 謀參七 謀參甲 長謀參
 朝 吉

65

大本營 陸軍部 參密第四二號第八

蘇聯邦發行新聞書籍入手ニ關スル件

昭和十二年十二月廿一日 大本營陸軍參謀部總務部長 中島 鐵



第七師團參謀長 服部曉太郎殿

七師參情第三號別紙中第二、第三項ハ當部ニ於テ他ノ方面ヨリ入手シアルニ付將來當部ノ爲特ニ注文セララルル要ナシ但シ第一項所載ノ如キ現地ニ於テ個人ヨリ入手セラレタル地方新聞雜誌若ハ漂着越境者等ノ所持スル書籍印刷物等ハ其都度送付相成度

中島 鐵

秘



陸

12.24

66

帥團長	司令	附	少將
	參謀長		
關係部	副官部	參謀部	
	司令部附	兵器部	經理部
淨寫主任	軍醫部	獸醫部	法務部
昭和	12	12	28
日	月	年	日
發			日
送			日
主			日
任			日

蘇聯邦發行新聞書籍
 一件ニ關スル件
 津要誌本考案
 首題、件別紙八通送附
 送附了ラサルニ付移附
 送附了ラサルニ付移附
 送附了ラサルニ付移附

承知相取付

陸軍

七師參情第六號

蘇聯邦發行新聞書籍入手ニ關スル件移牒

昭和十二年十二月廿八日

第七師團參謀部

津輕安基 鈴木參謀 殿

首題ノ件別紙寫ノ通通牒アリタルニ付移牒ス

追而津安課第三四號別紙第一項ト第二項ハ當部ヨリ參謀本部へ提出ノ際ハ番號ヲ入換エタルニ付承知相成度

寫

大本營
陸軍部 參密第四二號第一八

蘇聯邦發行新聞書籍入手ニ關スル件

昭和十二年十二月廿一日 大本營陸軍參謀部總務部長 中島鐵藏

第七師團參謀長 服部 曉太郎 殿

七師參情第三號別紙中第二、第三項ハ當部ニ於テ他ノ方面ヨリ手入シアルニ付將來當部ノ爲特ニ注文セララル要ナシ但シ第一項所載ノ如キ現地ニ於テ個人ヨリ入手セラレタル地方新聞雜誌若ハ漂着越境者等ノ所持スル書籍印刷物等ハ其都度送付相成度

秘

一月七日 發送陸軍

秘參情第七號

軍事上 秘密ニ關スル件 回答

昭和十一年七月七日 第七師團參謀長 服部曉太郎

樺太地方裁判所檢事正 本間寛二 殿

昭和十二年十二月二十八日附日記 甲第一二三号ニ
依ル照會ノ件 左記ノ通 回答致候

左記

樺太ニ於ケル軍事上ノ秘密ニ屬スル施設等ニ關
シテハ乍遺憾貴意ニ應シ難キニ付承知相成度
但シ軍機保護法ニ明示セラレタル区域ハ勿論其
他ノ地域ト雖樺太全島ハ軍事上秘密地圖区
域ニシテ縱ヒ軍ノ施設ニテラサルモ外國ニ對シテハ
左ニ例示セルカ如キ事項ニ至ルマテ悉ク軍事上
秘密ヲ要スルニ付申添フ

海岸ノ状態、港灣ノ状態、其施設、地形ノ一般
森林ノ狀況、道路網ノ状態、道路ノ價値、
警備ノ狀況、市街村落ノ狀況、給養力各
種資源ノ有無多寡、交通機關ノ狀況、文
通施設、給水ノ難易等々
之等ハ一見軍事上ノ秘密ヲ要セサルカ如シト
雖國境ヲ接スル地方ニ於テハ國土ノ防衛並作
戰ノ爲極メテ重大ナル關係ヲ有シ各國ハ常
ニ之ヲ探知ニ全カヲ傾注セル所ナリ
而シテ過般ノ蘇船ハ純然タル漂着トハ認メ難
ク之等ノ事項ヲ探知スル目的ヲ以テ侵入セルヤ
ノ疑多シシム歟聯邦カ樺太ノ狀況探知ニ在
奔セル實狀特ニ最近我領海附近ニ蘇聯發
動機船ト疑ハル、モノ夜間ニ於テ屢ニ近接シツ

謀案丁 謀案丙 謀案乙 謀案甲

		(主)	(白)		

68

9/171

秘 控

陸 軍

七師參情第九號

諜報資料提出ノ件

昭和十三年一月十一日 第七師團參謀長 服部 曉太郎

參謀本部總務部長 中島 鐵藏 殿

首題ノ件左記ノ通提出ス

左 記

昭和十二年度ソ官憲取締狀況附官吏調 參 部

發送主任

師團長	司令部附少將	參謀長	主務部長	高級副官	主任	淨寫主任	昭和十三年一月十日發
-----	--------	-----	------	------	----	------	------------

關 係 部	司令部附	兵器部	軍醫部
副官部	參謀部	經理部	職醫部
參謀部	法務部		

發送番號	七師參情第一〇號	宛名	津島 大侯 運輸部	出差名	津島 長
------	----------	----	-----------	-----	------

首題ノ件ノ左記ノ通提出 (送付)

追前十二月二十日七師參情第一〇號 津島 長

左 記

大正十一年 氣象海象
四月初旬 陸軍大臣 航空記録披露
提出 (送付) 先
津島 長
陸軍運輸部

秘 控

陸 軍

七師參情第一〇號

兵要氣象資料提出（送付）ノ件

昭和十三年一月十一日 第七師團參謀長 服 部 曉太郎

首題ノ件左記ノ通提出（送付）ス

追而十二月二十日七師參情第四號參照相成度

左 記

大正十一年四月初、中旬氣象海象 部

（陸軍交通船長上原竹松郎航海記錄拔萃）

提出（送付）先

參謀本部、津輕要塞司令部、大湊要港部、陸軍運輸部

師團長 長 苑

電 話

十三日午後七時三十分受

津輕西女塞司令部官

陸 軍

師團長 苑

津輕海峽西口ニ避難セル英國汽船一、函館港
外葛燈志岬附近ニ投錨シ、吹雪ノ晴間ニ於
テ午後二時三十分自神岬東方吉岡沖ニ漚ニ
テ第二区内（前電ノ位置ニ誤リ）ヲ卷錨シ小樽方
面ニ出航セルヲ以テ檢事ハ函館ニ廻航ヲ命セリ
海上甚ル天ノ為現地調査出来サリシニ依リ爾後
函館ニ於テ關係官廳ト協力調査ス



72

電報翻譯用紙

電報

翻譯者 甲 日 直

昭和13年1月12日午後八時30分 着信番號

發信者 宛 津輕要塞司令官

本文

函館無線電信局ヨリ 神戸市 太陽海
運會社 備船英國汽船二隻 本十二日
午前七時 福島沖合ニ海里ノ地點ニ
吹雪ノ為 碓泊シタル旨 通報アリ
目下 手配中ニシテ 其後 一隻ハ 函館
港内ニ避難中 他ノ一隻ハ 自鹿岬
南西四十四度九海里四分ノ一地點ニ
碓泊セルコト 判明セリ

陸軍

付受通普

電報送達紙

副官部

種類	數字	發信局	受信者	受信時間	校對
無線	九二四	ハコダテ	會社	六時三七分	
指	三三五	若し他人に宛てた電報なるときは其旨附録して直に配達局所へ返戻して下さい	船		
印			船		
日			船		



省信送

紙 達 送 報 電

者校照	信受 午	付受	號番	局信發	數字	類種	宛	名
	時	時						
	分	分						
カ、イ、ニ、ミ、 ニ、セ、ア、フ、カ、フ ア、モ、サ、カ、フ、 オ、イ、ム、ハ、モ、 ソ、マ、イ、ネ、シ、マ ア、チ、モ、ニ、ウ、オ ク、ア、ツ、ツ、ク、キ シ、ウ、ツ、ツ、ア 一、ク、ス、ウ、ア セ、エ、ア、ソ、ニ、							定指	
							殿	著信番號
							若し他人に宛てた電報なるときは其旨附録して直に配達局所へ返戻して下さい	
							印	附
							日	

省 信 送

紙 達 送 報 電

者校照	信受 午	付受	號番	局信發	數字	類種	宛	名
	時	時						
	分	分						
ノ、ミ、セ、ニ、キ ニ、ウ、南、中、ハ、 ク、カ、ツ、ハ、ヒ、 テ、キ、ニ、シ、ヒ、 ニ、モ、ニ、ウ、ラ、 ニ、シ、ウ、カ、タ、 ニ、ウ、シ、ミ、ア、 テ、ス、ウ、ト、キ、 ウ、ウ、ツ、							定指	
							殿	著信番號
							若し他人に宛てた電報なるときは其旨附録して直に配達局所へ返戻して下さい	
							印	附
							日	

省 信 送

極東蘇領兵要地理調査進捗状況

第一 概況

昭和十一年度兵要地理調査計画ニ基キ實施セル結果概本豫期以上ノ成果ヲ收メ得タルニ其細部ハ地方ニ依リ環談アリ將來一層重點ニ徹底セル調査ヲ實施セルトス

第二 調査機関

一 津輕要塞司令部ノ調査補助機関ハ經費不足ノ爲充實ニ得サリシヲ以テ將來之ヲ充實ニ益、其機能ヲ發揮セシムルヲ要ス

最近樺太機関設置セラレシヲ以テ將來相當ノ成果ヲ豫期シアルニ該地機関ノ位置ノ關係上視界狭小ナルヲ免レサルヘシ

二 關係地方官憲及利用機関トノ連絡ハ頗ル取急ニ

秘

ニシテ良好ノ景況ニ在リ 高層氣象観測施設ニ逐次充
實シテハ本邦ノ将来ニ大ニ裨益ヲ得ルベシ

第三 調査 實地事項
一 函館及其附近ヲ根據トスル各漁業機関、現地ヨリノ歸
來者及通過者等ヨリ得タル情報ハ既ニ報告セルヲ通ニシテ
相當ノ分量ニ上リ將來ニ有望ナリ

四 日魯魯業漁業ノ漁区ヲ希望方面ニ遷移セザルニ獲得
セシムルコトハ情報取得ノ為極メテ重要ナルモ 協定日
ニ蘇澳業條約改訂セラレタル今日ニ於テハ不可能ナリ

二 越境者及漂流者無屢アリ 是等ヨリ得タル情報亦
既ニ報告セルヲ通トス

三 現地刊行物トシテハ 勘察加發行ノ新聞若干ヲ入手
シ提出セルヲ通トス

四 沿海州ノ各地ハ相當有力ナル資料ヲ蒐集シ得タルモ
ソフカワニールニ関スル資料ニ乏シ

陸軍

下黒語州ノ次頁料ニ在リ

北樺太ハ相當有力ナル資料ヲ得タリ

勘察加及 東オホツクレハ本年ノ重點ニアラサリシモ相
當ノ成果ヲ収メタリ

五 主要氣象ニ関スル調査ハ相當量ヲ入手セルモ 高層
氣象ニ関スルモノ少シ

六 放送無線ノ傳受ニ関シテハ研究努力セルモ 未タ成果
ヲ得ス

第四 所要經費

本年度ハ少額ノ經費ナリシモ 豫期以上ノ成果ヲ得
タリ 明年度ニ於テハ 左記額ヲ希望ス

油料要塞司令部ノ為 五千圓

樺太探検ノ為 五千圓

師長予備 三千圓

合計

一五三十四圓

勤的謀報ヲモ實施スル場合ニ於テハ更ニ所要額ノ増加ヲ要ス

Handwritten text in vertical columns, likely a report or ledger. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

極秘

陸軍

七師參情第一一號

兵要地理調査進捗狀況ノ件報告

昭和十三年一月二十日 第七師團長 園部 和一郎

參謀總長 載 仁 親 王 殿 下

首題ノ件昭和十二年二月四日參機第五二號ニ基キ別紙ノ通報告ス

極東蘇領兵要地理調査進捗状況

第七師團

第一 概況

昭和十二年度兵要地理調査計畫ニ基キ實施セル結果概ネ豫期以上ノ成果ヲ收メ得タルモ其細部ハ地方ニ依リ濃淡アリ將來一層重點ニ徹底セル調査ヲ實施セントス

第二 調査機關

一、津輕要塞司令部ノ調査補助機關ハ經費不足ノ爲充實シ得サリシヲ以テ將來之ヲ充實シ益々其機能ヲ發揮セシムルヲ要ス
最近樺太機關設置セラレシヲ以テ將來相當ノ成果ヲ豫期シアルモ該地機關ノ位置ノ關係上視界狹小ナルヲ免レサルヘシ

二、關係地方官憲及利用機關トノ連繫ハ頗ル緊密ニシテ良好ノ景況ニ在リ

高層氣象觀測施設モ逐次充實シツ、アルヲ以テ將來成果ヲ期シ得ヘシ

第三 調査實施事項

一、函館及其附近ヲ根據トスル各漁業機關、現地ヨリノ歸來者及通過者等ヨリ得タル情報ハ既ニ報告セル通ニシテ相當多量ニ上リ將來モ有望ナリ

日魯漁業ノ漁區ヲ希望方面ニ獲得セシムルコトハ情報取得ノ爲極メテ重要ナルモ日蘇漁業條約改訂セラレサル今日ニ於テハ不可能

ナリ

二、越境者及漂流者屢々アリ是等ヨリ得タル情報亦既ニ報告セル通トス

三、現地刊行物トシテハ勘察加發行ノ新聞若干ヲ入手シ提出セル通トス

四、沿海州ノ各地ハ相當有力ナル資料ヲ蒐集シ得タルモノソフガワニ「」ニ關スル資料ニ乏シ

下黒龍州ハ資料ニ乏シ

北樺太ハ相當有力ナル資料ヲ得タリ

勘察加及「オホツク」ハ本年ノ重點ニアラサリシモ相當ノ成果ヲ

收メタリ

五、兵要氣象ニ關スル調査ハ相當量ヲ入手セルモ高層氣象ニ關スルモノ尠シ

六、放送無線ノ傍受ニ關シテハ研究努力セルモ未タ成果ヲ得ス

第四 所要經費

本年度ハ少額ノ經費ナリシモ豫期以上ノ成果ヲ擧ケ得タリ明年度ニ於テハ左記額ヲ希望ス

津輕要塞司令部ノ爲 五千圓

樺太機關ノ爲 五千圓

師團豫備 三千圓

極東蘇領兵要地理調査進捗状況

第一、概況

昭和十二年度兵要地誌調査計畫ニ基キ實施セル結果概ネ豫期以上ノ成果ヲ收メ得タルモ其細部ハ地方ニ依リ濃淡アリ將來一層重點ニ徹底セル調査ヲ實施セントス

第二、調査機關

一、津輕要塞司令部ノ調査補助機關ハ經費不足ノ為充實シ得サリシヲ以テ將來之ヲ實充シ益々其機能ヲ發揮セシムルヲ要ス

最近樺太機關ヲ設置セラレシヲ以テ將來相當ノ成果ヲ收ムルナラン但シ該地機關ハ其位置ノ關係上視界狭少ナルヲ免レサルハシ

二、關係地方官憲及利用機關トノ連繫ハ頗ル緊密ニシテ良好ノ景況ニアリ

第三、調査實施事項

一、函館及其附近ヲ根據トスル各漁業機關、現地ヨリノ歸來者及通過者等ヨリ得タル情報ハ既ニ報告セル通りニシテ相當多量ニ上リ將來モ有望ナリ

二、日魯漁業ノ漁區ヲ希望方面ニ選定セシムルコトハ漁區カ定レハ今日不可能ナリ

三、越境者及漂流者ハ屢々ニシテ是等ヨリ得タル情報亦既ニ報告セル通りトス

四、現地刊行物トシテハ勘察加發行新聞若干ヲ提出セル通り

五、沿海州ノ各地ハ相當有力ナル資料ヲ蒐メシモソフガワニニ關スル資料ニ乏シ

下黒龍州ハ資料ニ乏シ

北樺太ハ相當有カナル資料ヲ得タリ
 勘察加及オホツクハ本年ノ重點トナササリシモ
 相當ノ成果ヲ収メタリ

六、兵要氣象ニ關スル調査ハ相當量ヲ入手セルモ
 高層氣象ニ關スルモノ尠シ
 七、放送無線ノ傍受ニ関シテハ研究努力セルモ未
 タ成果ヲ得ス

第四 所要經費

本年度ハ少額ノ經費ナリシモ豫期以上ノ成果ヲ擧
 ケ得タリ明年度ニ於テハ左記額ヲ希望ス

- 津輕要塞ノ為 五千圓
- 樺太機關ノ為 五千圓
- 師團豫備 三千圓
- 總計 一万三千圓

動的諜報ヲモ實施スルコト、セハ少クモ統計一万
 五千圓ヲ要ス

蘇聯漂着者拘束取調ニ
関スル件報告

昭和十三年一月三日

陸軍歩兵少佐太田軍藏

第七師團參謀長服部曉太郎殿

蘇聯邦漂着將校以下ノ處置ニ付キ昭和十二年十二月二十日陸軍省兵務課ニ於テ實施セラレタル關係者ノ打合せ決定事項ニ関シ左記報告ス

左記

- 一、蘇聯邦内ノ軍事關係事項ヲ徹底的ニ調査スル目的ヲ以テ取調續行中ナリ。
- 二、取調ハ恩威之ヲ兼テ時ニハ慰安ヲ與ヘ加給品ヲ給シツツアリ。又所要ノ者ニ對シテハ現地ニ於

テ日本文化ノ一部ヲ紹介スル企圖ヲ有ス

三、日本ノ文化ヲ紹介スル爲メ東京ニ連行スルヲ有利トスル將校其他ノ人員ヲ未タ認メス

四、漂着セルモノ、内自己ノ生命ニ関スル危虞ノ爲メ歸國ヲ肯セサルモノナク何レモ速カニ歸國

取計ヒ方ヲ希望シアリ

五、取調價值ナク速ニ歸國セシムルヲ可トスルモノ

左ノ如シ

船員 ウオロウエーフカ、コンスタンケン、イワイノウイケ

同

マーモント、ニキータ、フィリップウイケ

同

ゼリヤールノフ、ナトール、ワシリーニウイケ

労働者

ナヒーム、ガリーリエフ

同

ゲーメンケフ、ゲオルギー、ワシリーエウイケ

同

クルンゲンコ、ワシリー、パトローウイケ



六、蘇聯漂着將校以下ヲ收容スル為メ元守備隊

兵舎ノ設備費並ニ其ノ内譯左ノ如シ

金壹百九拾壹圓貳拾六錢也 設備費合計

内譯

金六拾六圓八拾七錢也

電燈配線工事費

金四拾九圓參拾四錢也

ストーブ用煙筒代金

金拾七圓五拾錢也

錠前代金

金拾圓八錢也

炊事用器具一式代金

金四拾七圓四拾七錢也

大工専職人夫賃金

七、一ヶ月分ノ軍部支出所要經費概算額並ニ其ノ内

譯左ノ如シ

金參百七拾貳圓也

軍部支出所要經費概算額

但シ一ヶ月總經費金五百八拾八圓也ナルモ内樺太廳員

担頼(二百四十五錢也)金貳百拾六圓也シ差引タルモノ

内譯

金壹百九拾貳圓也

衣糧費

金拾五圓也

衛生費

金拾五圓也

慰安費

金壹百貳拾圓也

薪代

金參拾圓也

電燈水道其他

金七拾貳圓也

寢具賃借料

金九圓也

憲兵監視費

金壹百參拾五圓也

事務費

(了)

發送先

參本 七師參

秘

豊原情第四號

ワングリス人越境者、件報告

昭和十三年一月十四日

陸軍歩兵少佐太田軍藏

第七師團參謀長服部曉太郎殿

左記、者昭和十三年一月九日無意加川上流ヨリ南
 樺太ニ越境入國シタルニ付敷香ニ於ケル樺太廳
 警察部、取調ノ後本人ヲ豊原ニ連行同地ニ於
 テ軍部、取調ヲ實施可致ニ付報告ス
 追而本人ハ曩ニ昭和十二年九月十七日越
 境入國シ當時土井一三、毛利尚夫ヲ敷
 香ニ派遣シ取調ヲ實施シタル者ニ付キ
 申添フ

左記

土人ワングリス族ニコライ、ソロウイヨフ

男子 雷四十年

送附先

参本 七参

陸軍



1.1.1

校

主任				
副官部				

樺太配屬將校課 報業務之屬ス質疑件

樺太廳真岡中學校服務

昭和十三年五月七日

酒井部隊參謀

白瀧理四郎 啟

陸軍歩兵少佐

井野八郎

13.5. 9. 付交通普

一、豊原課報常置機關名大田少佐專任シ樺太課報ヲ強化セラレタモ本務ノ余暇ヲ以テスル配屬將校ノ課報任務ハ依然繼續セラレアルモノト思考ス

二、真岡、西海岸ノ要矣ニシテ西海岸、或ハ之ニ關係アル漢業並ニ其ノ他事業ノ經營者等ハソノ領下接觸スル機会アリ 從テ課報ニ便シク位置下判斷スルヲ以テ比較的價値アルモノト認ムモノ等ハ大田少佐ニ連絡ス

見通

先般南部隊團長閣下樺太初度視察ノ際隨行セル生

樺太廳真岡中學校

參謀ヨリ課報ニ對シ指示セラレタルモ目下大田少佐專任ニアルヲ以テ本務ヲ兼テ之ニ從事シ已配屬將校ハ其ノ主体タル大田少佐ニ合流協力スルヲ至當ト思考ス 時局柄、且西海岸ノ地位上積極的ニ行動ス

80

昭和 年 月 日

拝啓先般御上京の節は匆忙の間は失禮申
 申譯無之候 其後不相變申 勇健の御事と
 拝素 幸申慶賀候
 陣中日太田軍藏少侍上より件、種々御覽
 古物等、難有御禮申候 同少侍上より御
 以就之は直接同少侍より御聴取の事と奉
 為念は、如く御報申候 以て御承事方
 一司佐及拓務関係より調致は、第二部長

昭和十四年三月二十三日

甲 谷 大 佐 啓

参謀本部 露班之長

第七師團留守参謀長

石田 大佐 殿

附部	官	主任	謀参丙	謀参乙	謀参甲	長謀参	将少附部	将少附部

179

最近ニ於ケル日蘇間ノ諸情勢ニモ鑑ミ、巽ニ稚内海軍通信隊司令トシテ露
 語專攻ノ海軍中佐岡田要造ヲ補職セラレ候處右ハ通信隊司令トシテノ職
 務ノ傍ラ海軍關係對蘇一般諜報任務ニ從事セシメラルル内意ニ有之候ニ
 就テハ當要港部同様更ニ地理的關係ニ鑑ミ特ニ同官ニ對シ密接ナル連絡
 並ニ便宜供與方格別ノ御高配ヲ得度

諜報ニ關スル件照會

大要機密第二二號ノ三七

昭和十四年二月一日

大湊要港部 参謀長



海



席の下に両省関係課長及樺太廳高杉敦吉
 部に付し謀報の重要性等と説明の上多少
 の脅喝混じり積極的協力方を要旨に修正
 更に高部及陸軍省関係者一同右三名と
 念食し、徹底的に高部の意思圖を申す
 結果、

不司法、招勢両省共に出先に付し軍の謀報に積極
 極的協力方を指す事、

口不正越境者、領海侵犯者等の取締には或る
 早く軍例と多し與せしむ事(利用價值判定
の自便を以て)

ハ北方側とて利用價值ありと思惟しるときは
 軍例に連報すること、

ニ利用價值ありは機を失せず之を利用し得

る如く如き起訴前に機直の処置を講ずること、

但右は司法関係に於て起訴不起訴の決定権

を有するとして其他是権を或る先機直に

委任する如く取計ふこと(従前は不確切な
理由を以て)

等意思見概ね一致し之の實現に努力すること

抑或る修及甚佳司法省官研文の結果見本

的に法的処分の件を指示するに至らざる

積極的の軍の謀報高部は協力すこと、旨

札幌に宛て指すことと日通報に接し、

従て来、不協の身勢の如く、其後

の目的は之を達成せしむと思惟し、高部は

自身権を廳長官に命令強請する所存の有ら

間、少くも経手する改善せざることは、

昨三月三十一日附七師申經第三十五
號を以て陸軍省へ申請致候間可然御
配慮被下度願上候

典原機園之関る件 田谷

昭和十四年四月一日 留守其申用各事

参謀部 露班之長

小林 少佐

甲 谷 少佐 殿

拝読人念之由勇健之彼奉 慶賀御

陳者先般典原機園太田少佐上系の節と種々

由配慮に於て種々有る之由概々上へ委細用少佐

へ承知致し太田少佐今迄の積極的進報に就て

は好転するものと信し中央部と於ける由厚力

程誠々感謝するに堪は

尚考得長宛由親書の趣 拝聴 依 原 方 如

之書 田谷 中 上 候

83

一、此ノ原機園囑託雇員昇給ニ付
 雇傭員昇給ノ旨ニ付テ、今迄豫算内ニ
 於テ若干昇給ナリトシ、如ク取計ス可ク
 二、此ノ原機園囑託ノ雇員一名増加ニ付
 雇員増加ニ就テハ所要給額ノ千円ノ増額ニ
 要スル見込ナリトシ、増額申請ノ上増額
 改度仰ル
 三、太田少佐私宅電話架設ニ付
 右件ハ太田少佐ノ所屬經營通報部
 申請ノ上架設ニ付
 四、太田少佐出張旅費ニ付
 先般ノ太田少佐上京ノ出張旅費ハ昨三月三十一日附
 七師申請芳云五号ヲ以テ申請改額ニ付
 改度上増額下度改額ニ付

眞情第三號

情報費豫算書提出ニ付

昭和十四年六月五日

樺太廳眞岡中學校配屬將校

陸軍重務尉江川要

酒井部隊參謀 小林捨三殿
 昭和十四年五月三十日七師參情第壹八號ニ依ル首題ノ件左記ノ
 如ク計更致シ候
 右提出御報告申上候

情報費豫算書 左記

一 通信費 一金拾圓也

電報料 一金八圓也 北樺太亜港方面ヨリ約十隻

切手代 一金貳圓也 入港船アルモノトシテノ計更

計 一金拾圓也

二 雜費 一金五圓也

計 一金五圓也

合計 一金拾五圓也

樺太廳眞岡中學校
 警察署及税関關係接待茶菓

84

師團長 司令部付 軍醫部 獣醫部 法務部

副官部 参謀部

高副級官 主任 主寫淨任

昭和十四年六月拾六日 發

情報費請求ニ関スル件

發送 番号 三三三

宛名 真岡中學校 配屬將校

名出差 冬 謀長

首題ノ件ニ関シテハ昭和十四年六月五日附真情

第三號ニ依ル豫算以内ニ於テ實費ヲ支辨スルニ付

業務遂行ノ爲要セシ經費(事務費及印刷費)ニ付テハ

重不テ通牒ス

控 秘

陸 軍

情報費請求ニ關スル件

真岡中學校配屬將校陸軍勲重夫村江川孝殿

昭和十四年六月拾六日 酒井部隊参謀長 鈴木繁二

首題ノ件ニ関シテハ昭和十四年六月五日附真情

第三號ニ依ル豫算以内ニ於テ實費ヲ支辨スルニ付

二付業務遂行ノ爲要セシ經費ヲ事務後ニ於テ

明細書(受領證アルモノ)ハ之ヲ附シテ以テ請求相成度

重不テ通牒ス

發送主任

部官副	謀參乙	謀參甲	長謀參	將少附部	長團師
	林	林	林		

85

極秘

大陸訓第一〇七號

指示

昭和十二年參訓第一二三號ニ依ル對「ソ」諜報及兵要地理資源ノ調査ヲ繼續シ特ニ樺太混成旅團ヲシテ北部沿海地方、下黑龍州及北樺太方面ニ對スル諜報竝前記諸地方及南樺太ニ於ケル兵要地理資源ノ調査ニ任セシムヘシ

之カ爲從來歩兵少佐太田軍藏ノ實施セシ對「ソ」諜報業務ハ其實施機間ト共ニ之ヲ樺太混成旅團司令部ニ移管スヘシ

昭和十四年六月七日
參謀總長 載仁 親
留守第七師團長 酒井 鎬次 殿



陸軍



86

極秘

師團長	五
司令部附少將	
參謀長	
主務部長	
高級副官	
主任	
洋寫主任	
司令部附	
兵器部	
醫務部	
軍醫部	
法務部	

社參第一號
名宛 北樺太旅團長
名出差 師團長

昭和十四年六月拾日
發

發送主任

一、師團、昭和十二年冬、訓第一二三號ニ依ル對「ソ」諜報及兵要地理資源調査ヲ繼續シ

二、旅團、特ニ北部沿海地方、下黑龍州及北樺太方面ニ對スル諜報竝前記諸地方及南樺太ニ於ケル兵要地理資源ノ調査ニ任ズ

陸軍

之カニ爲從來歩兵少佐太田軍藏ノ實施セシ
 對ソ諜報業務ハ其實施機關ト共之ヲ
 此旅團司令部ニ移管ス
 三、細部ニ關シテハ別ニ指示ス

極秘

七師參命第三號

對「蘇」諜報及兵要地理資源調査ニ關スル件命令

昭和十四年六月十日

留守第七師團長

酒井 鎬次

樺太混成旅團長 上野 勘一郎 殿

一、師團ハ昭和十二年參訓第一二三號ニ依ル對「蘇」諜報及兵要地理資源ノ調査ヲ續行ス

二、旅團ハ特ニ北部沿海地方、下黒龍州及北樺太方面ニ對スル諜報並前記諸地方及南樺太ニ於ケル兵要地理資源ノ調査ニ任スヘシ
 之カ爲從來歩兵少佐太田軍藏ノ實施セシ對「蘇」諜報業務ハ其實施機關ト共ニ之ヲ貴旅團司令部ニ移管ス
 三、細部ニ關シテハ別ニ指示ス

控

陸軍

89

抄紙

官令司守留

將少附部令司

謀參守留

長部務主

官副守留

任主

任主寫淨

昭和

6月

20日

發

調

發送主任

件名

樺太三尾ヶル旭川隊司令部
司令部事務所事務

部係關

參謀部
副官部

司令部附
兵器部
經理部

軍醫部
獸醫部
法務部

發送
番號

陸軍省
第五
部

宛名

樺太三尾ヶル隊長

出差名

參謀長

送件ノ件ニ関シ陸軍省長官備課長ヨリ別紙寫
通シ照會アリシ以テ左記ノ如ク回答ニ付キ
付承知セラレ度

左記(兵務局兵備課長ヨリ左記ノ文面ト同シ)

陸軍



七師參需第二五號

樺太ニ於ケル旭川聯隊區司令部々員事務所ノ
事務ニ關スル件通牒

昭和十四年六月二十日 留守第七師團參謀長 鈴木繁二

樺太混成旅團長 上野 湖一郎 殿

首題ノ件ニ關シ陸軍省兵備課長ヨリ別紙寫ノ通り照會アリシヲ以テ
左記ノ如ク回答シ置キタルニ付 知セラレ度

左記

一、太田軍藏少佐ノ管掌シアリシ事務（昭和十二年十一月十七日參訓
第一二三號及同年十一月十九日參密第五五三號第一ニ依ルモノ）
ハ昭和十四年六月七日附大陸訓第一〇七號參謀總長指示ニヨリ六

月十日其ノ實施機關ト共ニ樺太混成旅團司令部ニ移管セリ
旅團トシテハ同少佐從來ノ業務ヲ中絶セシメサル爲當分其實施機
關ト共ニ現地ニ位置シ其業務ヲ繼續セシメアリ

二、本件ハ旅團司令部樺太移駐ノ時期迄前記ノ通り取計フノ要アルヲ
以テ當分（後任者トシテ適任者ヲ得ル迄）副官業務ハ部附ヲ以テ
代理セシメアリ

尙聯隊區司令部事務所ノ名稱ハ旅團司令部出張所ト改稱スルヲ可
トス（當分ノ間部内ノミノ名稱トシ部外ニハ表ハサス）

三、樺太ニ於ケル聯隊區司令部ノ業務ハ旭川聯隊區司令部ニ於テ主ト
シテ直接取扱アリテ同少佐ノ轉出ニ伴ヒ後任及事務所ヲ置カサル
モ目下ノ處業務ニ礙ネ支障ナシ但シ將來ニ於テハ本年三月二十七

陸軍

日參謀長會議提出意見（~~別紙~~）
如ク兵事部ヲ設置スルヲ
可トセン

寫

陸軍

兵備第四八九號

樺太ニ於ケル旭川聯隊區司令部部員事務所ノ事務ニ關スル
件照會

昭和十四年六月十二日 陸軍省兵務局兵備課長 小松光彦

留守第七師團參謀長 鈴木繁二殿

旭川聯隊區司令部部員トシテ樺太ニ於テ勤務中ナリシ太田軍藏少佐
過般樺太混成旅團副官ニ轉出シタルモ從來同官ノ管掌シアリシ首題
事務所ノ事務ハ爾後如何ニ取計ハレアリヤ玉忌回報アリ度尙本件ニ
關シ御意見アラハ併セテ承リ度照會ス

秘

官令司守留
將少附部令司
謀參守留
長部務主
官副守留
任主
任主寫淨
昭和 6 年 6 月 20 日 發

名 件
榎太ニ於ケル旭川駐隊司令
部々員事務所ノ事務ニ関スル件 田代
部 係 關
參謀部 副官部
司令部附 兵器部 軍醫部 經理部 法務部

發送 番號
參謀部 第四
宛 名
兵務局 兵備課長
出差 名
參謀長

六月十二日附兵備第四八九号ニ依リ照會ノ首題ノ件
左ノ通回答ス

左 記

一 太田軍藏少佐ノ管掌手ニアリシ事務ハ六月七日大陸
訓第一〇七号參謀總長指示ニヨリ其ノ實施機

昭和十二年十月十七日參謀部訓第一千五百五
及同一年十二月十九日參謀部訓第五五三

昭和十四年

陸 軍

發送主任

(秘)

一、關於其之樺太混成旅團司令部之移管セリ
 旅團下之人員同少佐從來ノ業務ヲ中絶セシメサレハ爲
 此爲分其ノ實施機關ト共ニ其業務ヲ繼續セシメアリ
 二、本件ノ旅團司令部樺太移駐ノ時期迄前記ノ
 通テ取計ヲノ要アルヲ以テ當分(後任者トシテ適任者
 ヲ得ル迄)副官兼業務部ノ部附ヲ以テ代理セシメ
 尚該旅團司令部事務兼稱ノ旅團司令部ヲ云強行
 ト改稱スルヲ可トス
 三、樺太之旅團司令部ノ業務同少佐ノ轉去ニ伴ヒ
 後任ヲ置カサルニ因テ業務部ニ係リテ支障ナク
 二、旅團司令部三月二十七日ヨリ樺太司令部
 ノ如ク各事務部ノ設置送るルヲ可トセ

直接取振アリ

別紙

陸軍

其ノ樺太司令部移駐ニ關スル

一、樺太之旅團司令部ノ機關トシテ其ノ業務部ヲ
 兼稱スルノ旨由ニ旅團司令部ノ業務部ト稱シテ在ル
 軍人ノ指揮等事ヲ行ハルルニ由リ旅團司令部ノ下
 設地トシテ連絡機關トセリシ由
 理由
 樺太ノ修造ノ際絶シテ而モ交通ノ便ヲ杜絶
 するヲ以テ司令部ノ設置ニ關シ軍部ノ下

